

グループプリビングえんの森入居者 三石惠子さんに インタビューさせていただきました！

グループプリビングえんの森開設から14年、居住者の顔ぶれもすっかり入れかわり、それぞれの暮らしを楽しんでおられます。今回は昨年12月に入居された三石さんにインタビューしました。

グループプリビングえんの森を選んだ理由は？

上野千鶴子さんの「おひとり様の老後」などにグループプリビングのことがあり、影響されました。10年ほど前、開設まもないえんの森を川口の方々と見学に伺い、いずれここに入ろうかなと思っていました。

最近は独り暮らし高齢者を狙った詐欺や強盗、怖かったです。古い木造の家は寒い。灯油ストーブで冬をしのぐのはたいへんでした。ここは床暖房がはいっていて、それが決め手かな。

入居して住み心地はいかがですか？

住み始めて、想像以上に生活は個人に任せられていて自由なことがわかりました。夕食以外、朝食と昼食は自分で調理するのもわたしには合っています。

新座市外から引っ越してきたので、居住者の方々にいろんなこと（買い物先や散歩道など）を教えていただき、ありがとうございました。

三石さん流にグループプリビングえんの森を紹介していただけますか。

建物の前は雑木林で朝は鳥のさえずりで目覚め、散歩コースは無数にあります。床暖房は快適です。たまに居住者の皆さんとおしゃべりを楽しむことができます

ほかに伝えたいことをどうぞ！

都市部の川口市、蕨市しか住んだことがなかったので、きれいな川が流れ、畠があって、散歩ができ、あちこちに野菜の直売所があり、水がおいしい。新座の住民になれて嬉しく思っています。



グループプリビングえんの森 夕食風景